

労働災害発生状況推移（桜井労働基準監督署：平成30年～令和5年）

死傷者数

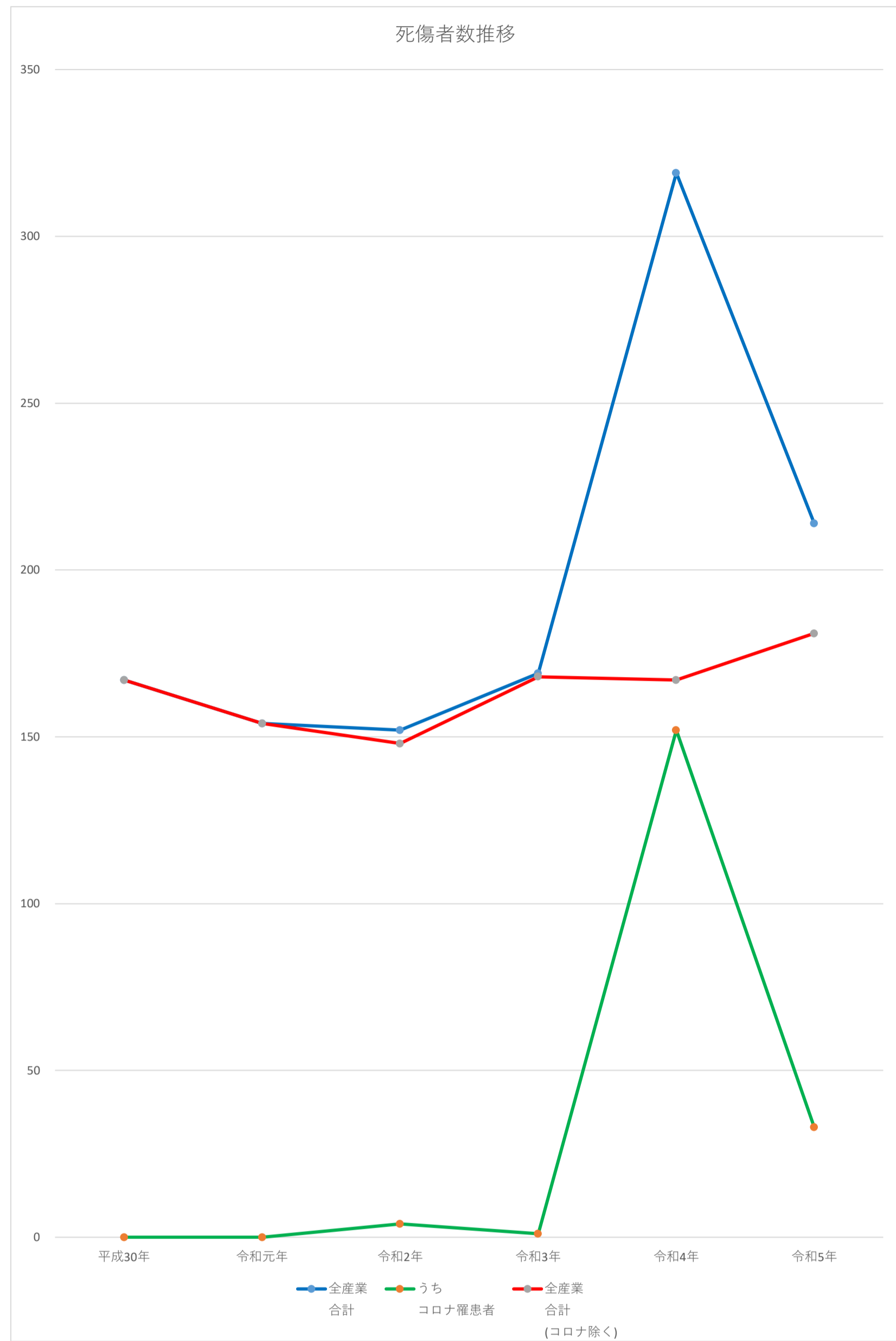
	全産業 合計	うち コロナ罹 患者	全産業 合計 (コロナ除 く)	死亡
平成30年	167	0	167	3
令和元年	154	0	154	1
令和2年	152	4	148	2
令和3年	169	1	168	0
令和4年	319	152	167	1
令和5年	214	33	181	0

直近5年 平均	192.2	—	160.8	1.4
------------	-------	---	-------	-----

労働災害の傾向と分析（コロナを除く）

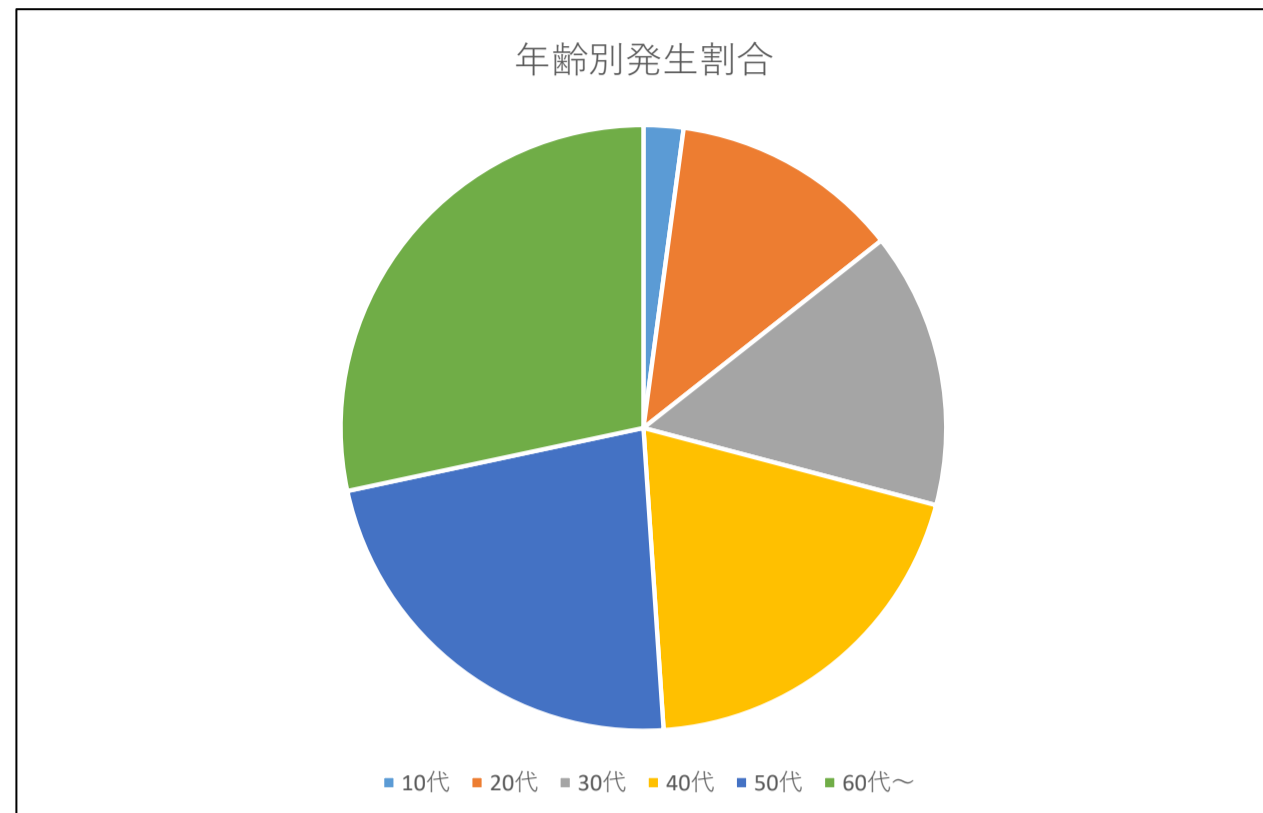
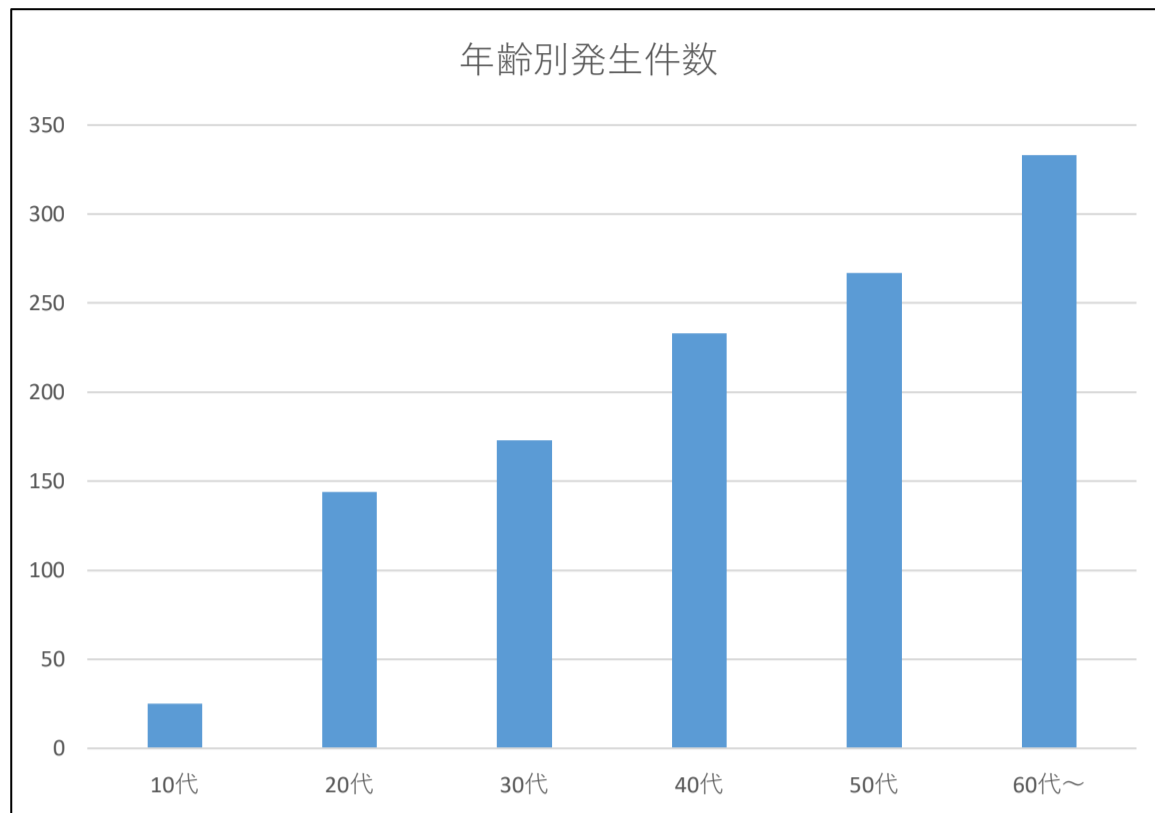
令和5年と直近5年間の平均を比較したところ、

181 : 160.8
(12.6%増加)



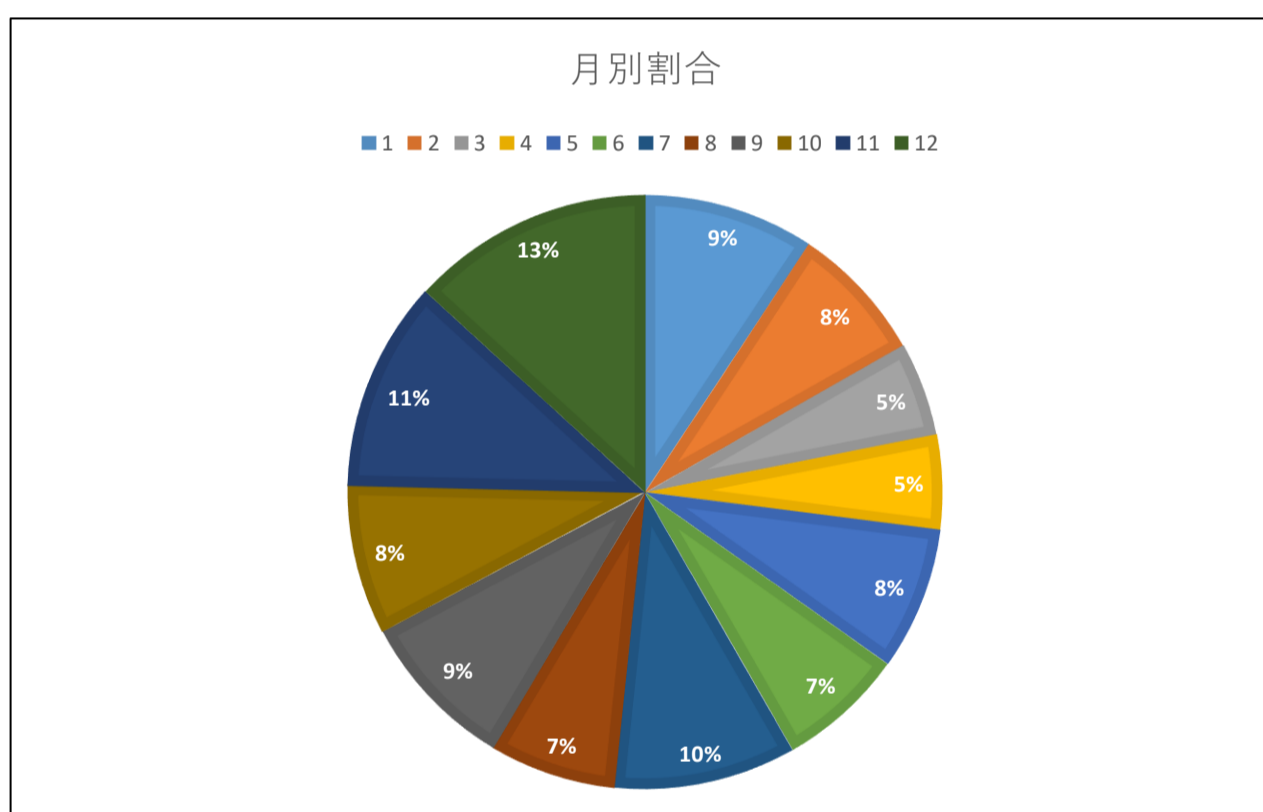
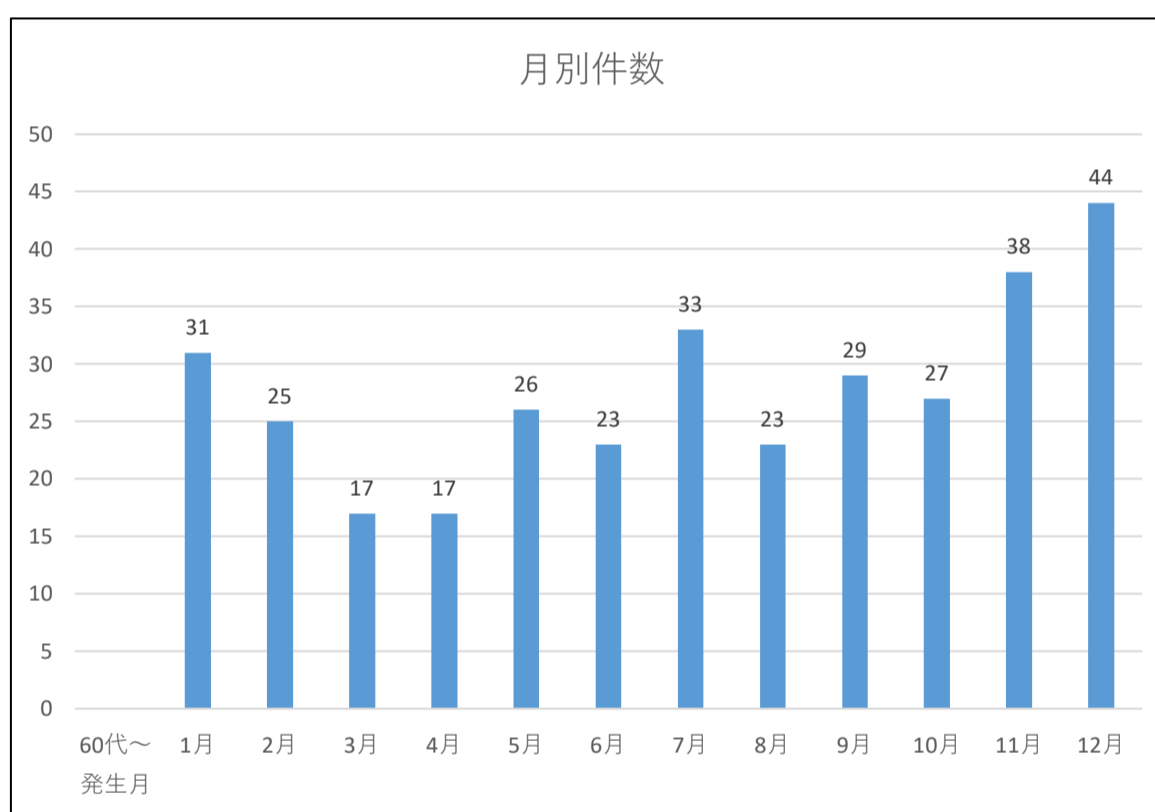
高齢労働者労働災害発生状況分析（桜井労働基準監督署：平成30年～令和5年）

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代～	合計
	25	144	173	233	267	333	1175
	2.1%	12.3%	14.7%	19.8%	22.7%	28.3%	100.0%



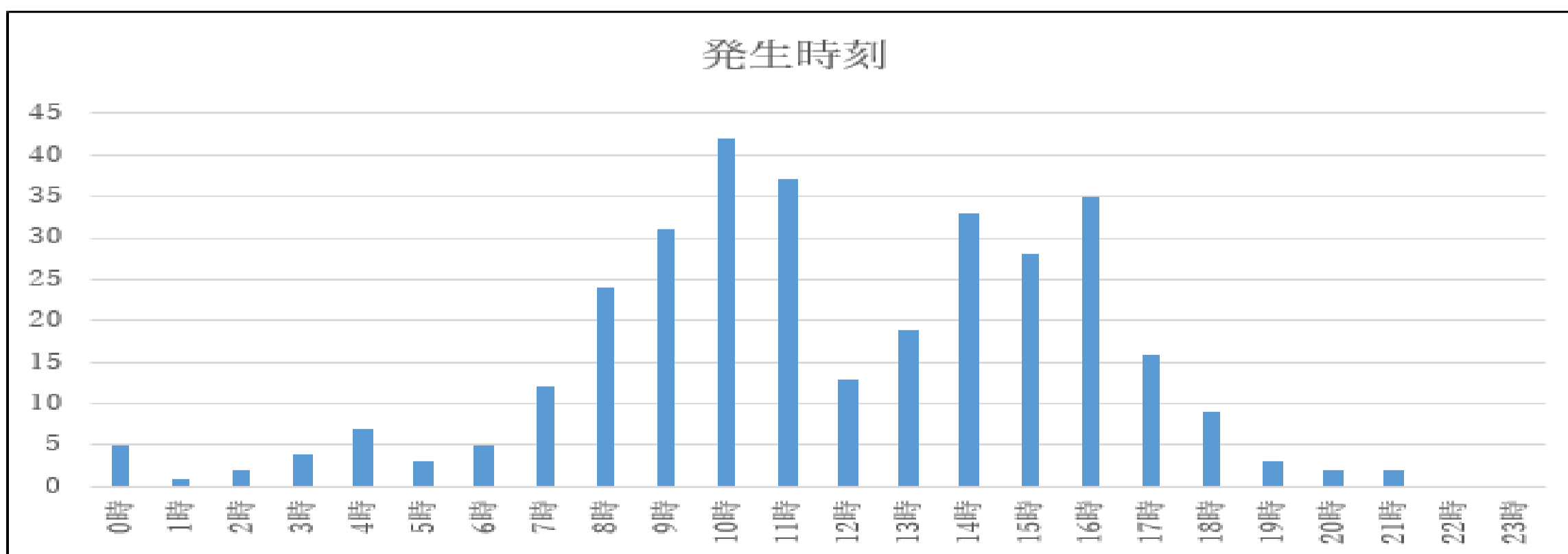
概要 最も多く労働災害が発生しているのは「60代～」333件（28.3%）であり、「50代」＋「60代～」で算出すると600件（51.1%）と半数を超える。

60代～発生月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
	31	25	17	17	26	23	33	23	29	27	38	44	333
	9.3%	7.5%	5.1%	5.1%	7.8%	6.9%	9.9%	6.9%	8.7%	8.1%	11.4%	13.2%	100.0%



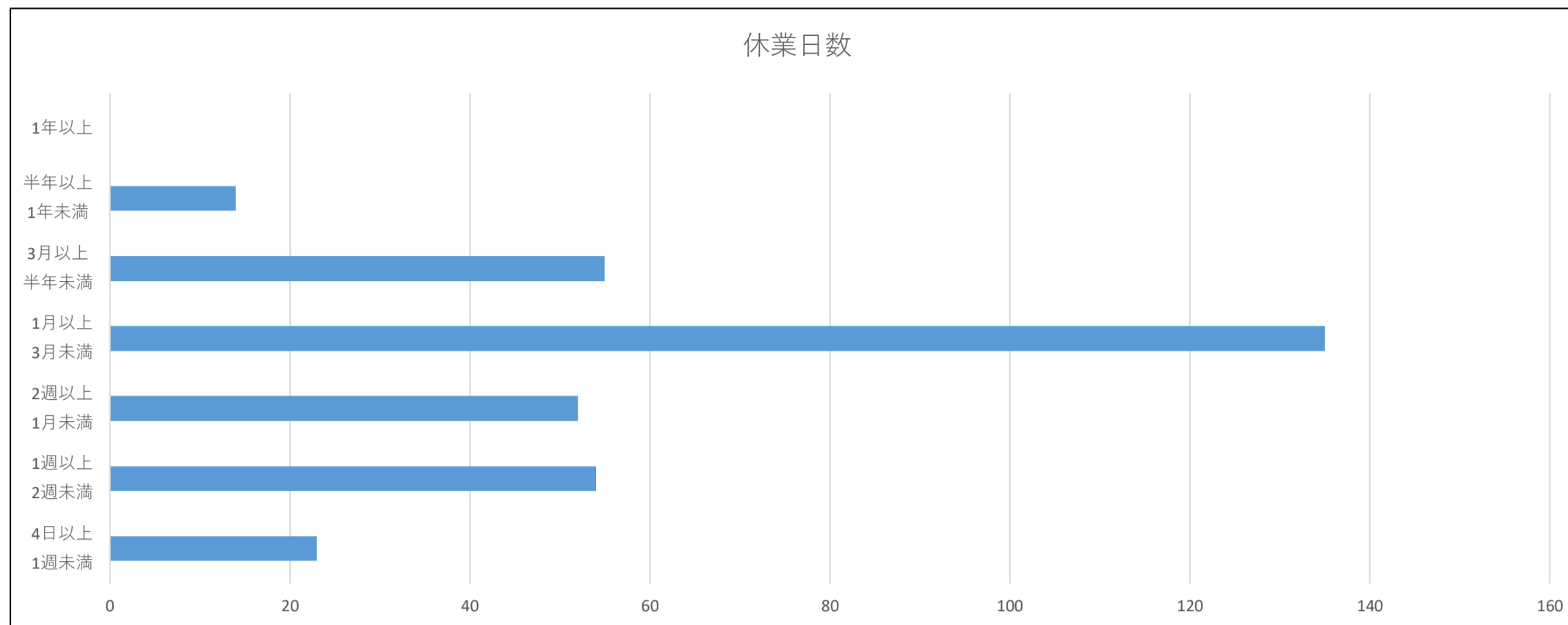
概要 「60代～」で最も労働災害が発生している月は「12月」44件（13.2%）で、次いで「11月」38件（11.4%）「7月」33件（9.9%）となっている。真夏、年末年始にかけて多く発生している傾向にある。

60代～発生時刻	0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	
		5	1	2	4	7	3	5	12	24	31	42	37
	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	合計
	13	19	33	28	35	16	9	3	2	2	0	0	333



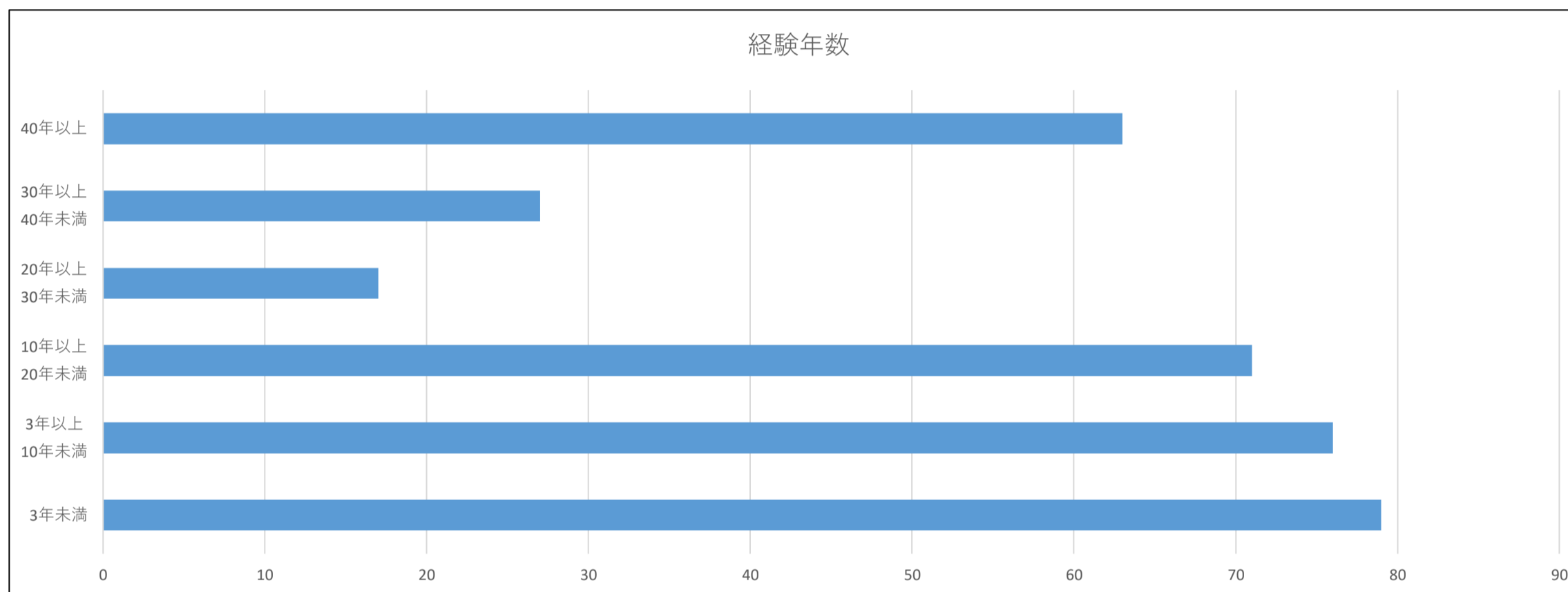
概要 「60代～」で最も労働災害が発生している時間帯は「10時」（12.6%）で、次いで「11時」37件（11.1%）、「16時」35件（10.5%）となっている。比較的午前中に多く発生している。

60代～ 休業 日数	4日以上 1週未満	1週以上 2週未満	2週以上 1月未満	1月以上 3月未満	3月以上 半年未満	半年以上 1年未満	1年以上	合計
	23	54	52	135	55	14	0	333



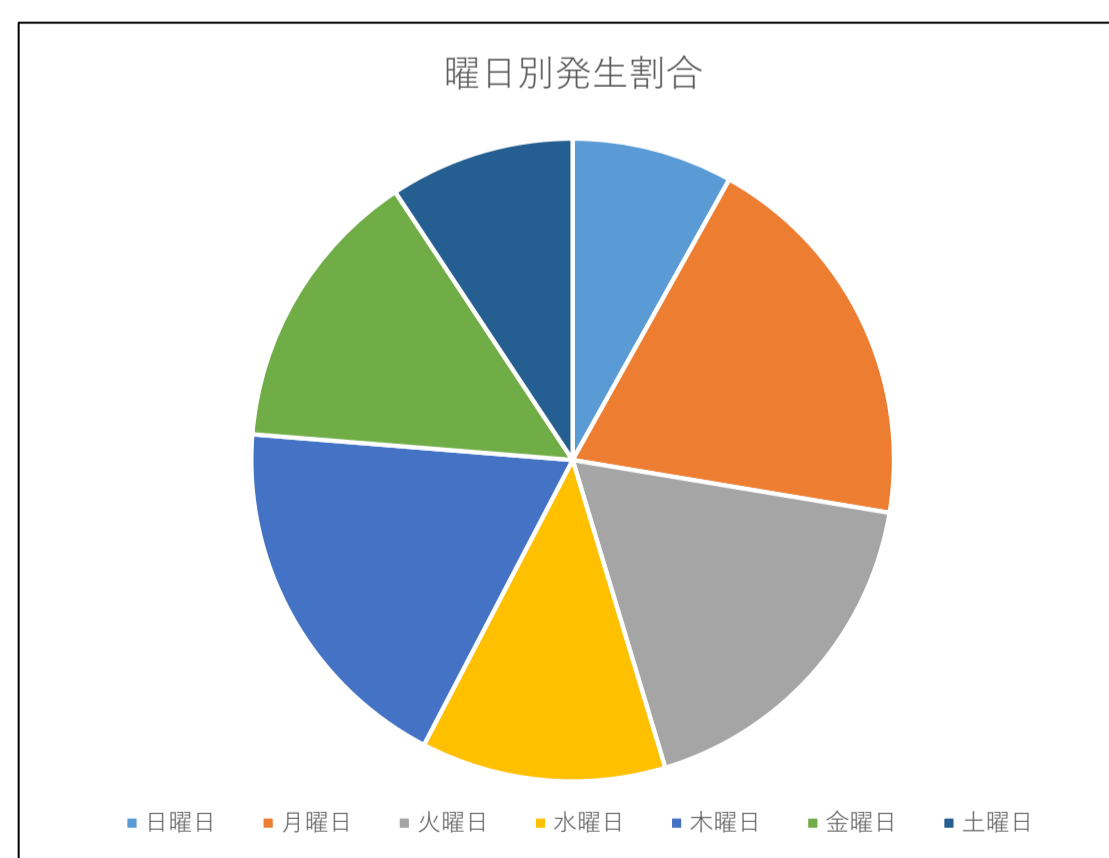
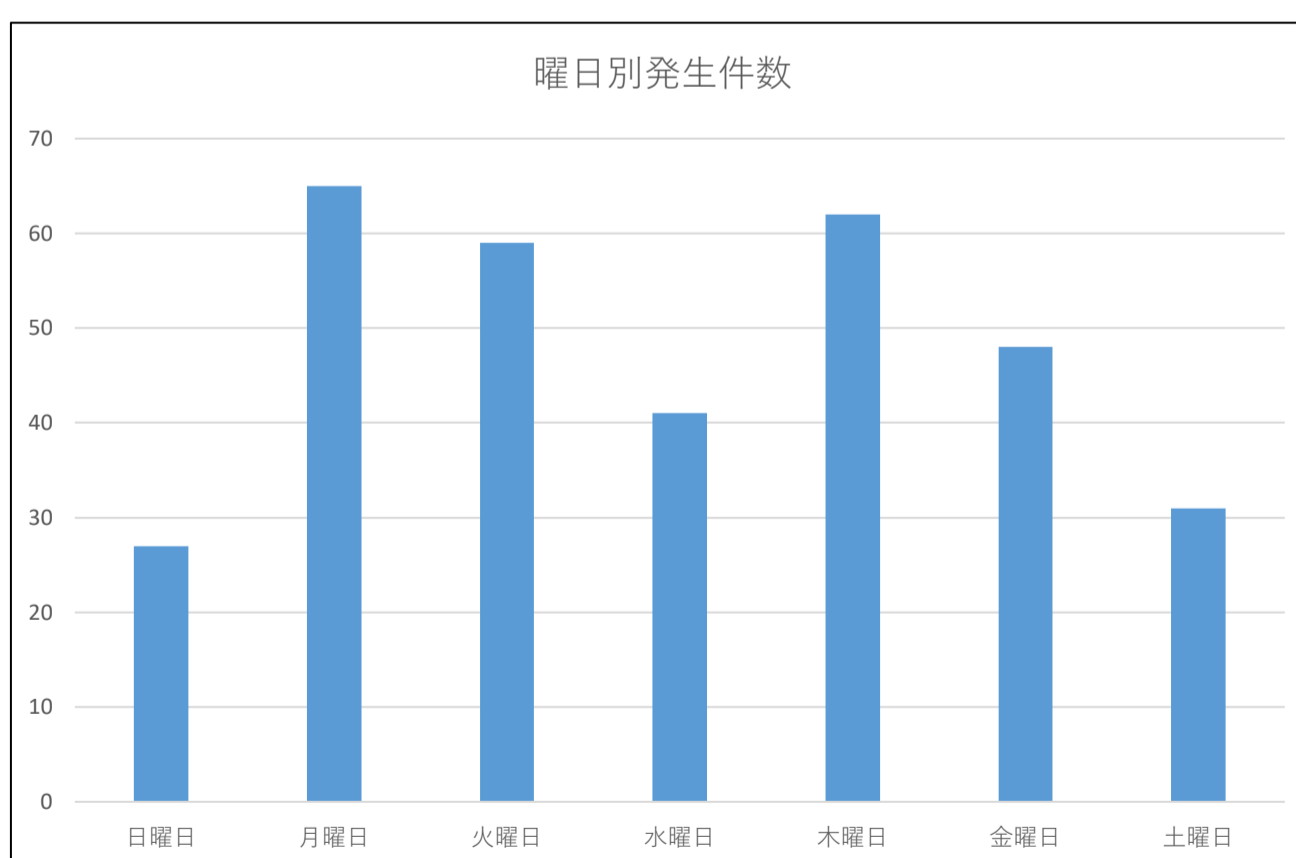
概要 「60代～」の労働災害で、最も多い休業日数は「1か月以上3か月未満」135件（40.5%）であるが、全体の約6割（61.3%）204件は「1か月以上」の休業となっている。

60代～ 経験 年数	3年未満	3年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上 40年未満	40年以上	合計
	79	76	71	17	27	63	333



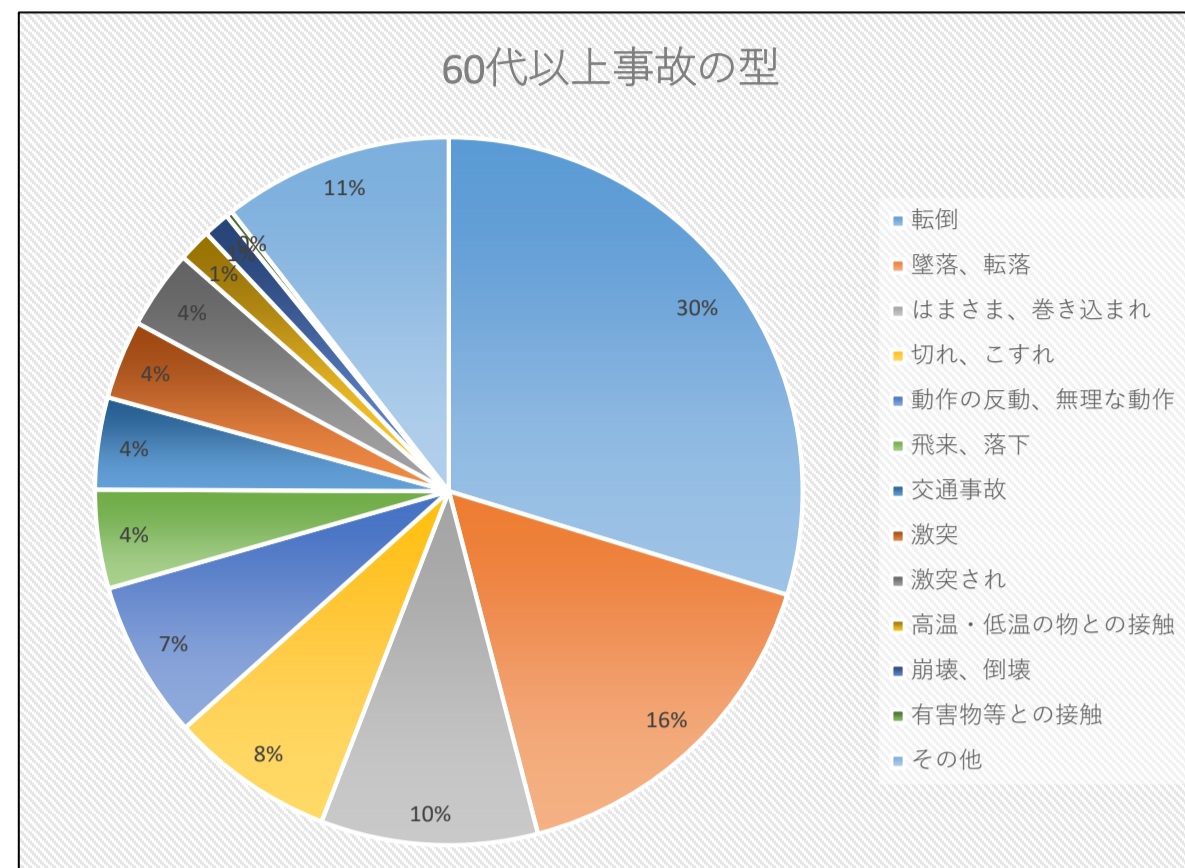
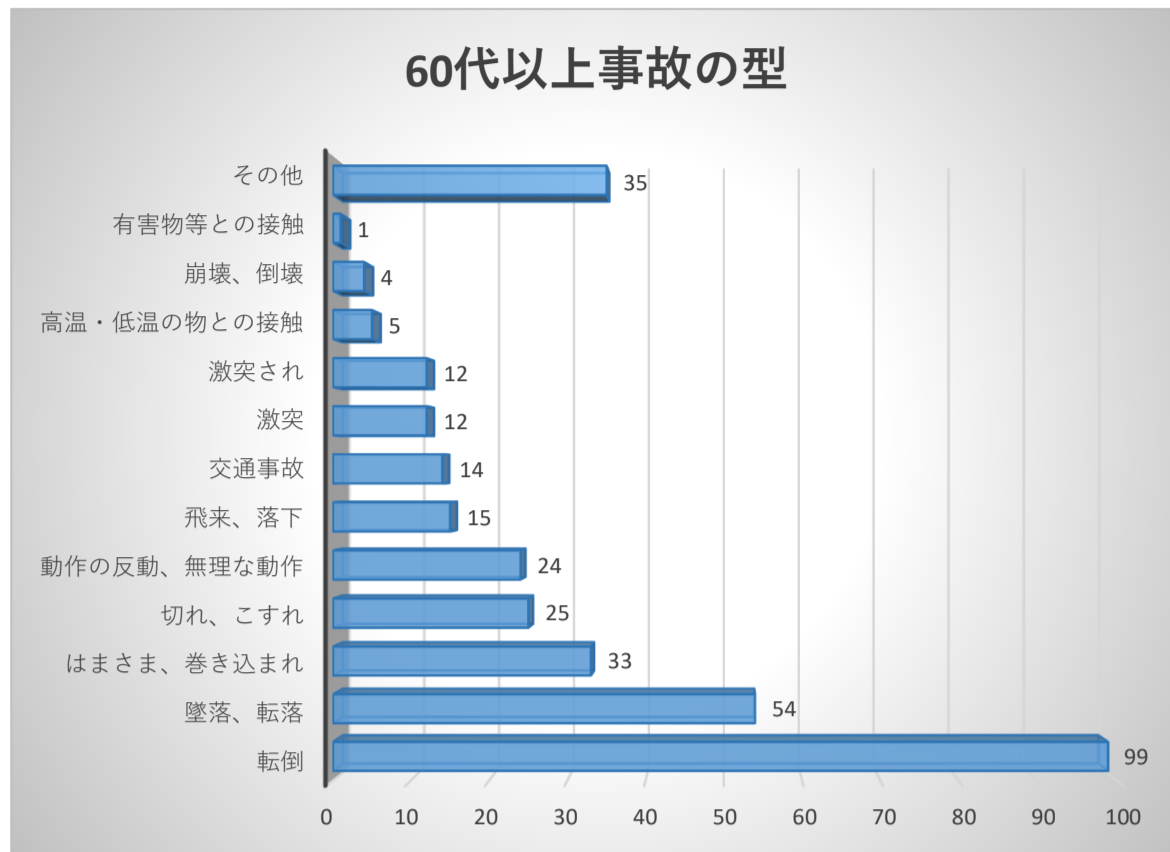
概要 「60代～」で最も労働災害が発生しているのは「経験年数3年未満」79件（23.7%）、次いで「経験年数3年以上10年未満」76件（22.8%）であるが、「経験年数40年以上」でも63件（18.9%）発生しており、全体としては経験による発生頻度に差はない。

60代～ 曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合計
	27	65	59	41	62	48	31	333
	8.1%	19.5%	17.7%	12.3%	18.6%	14.4%	9.3%	100.0%



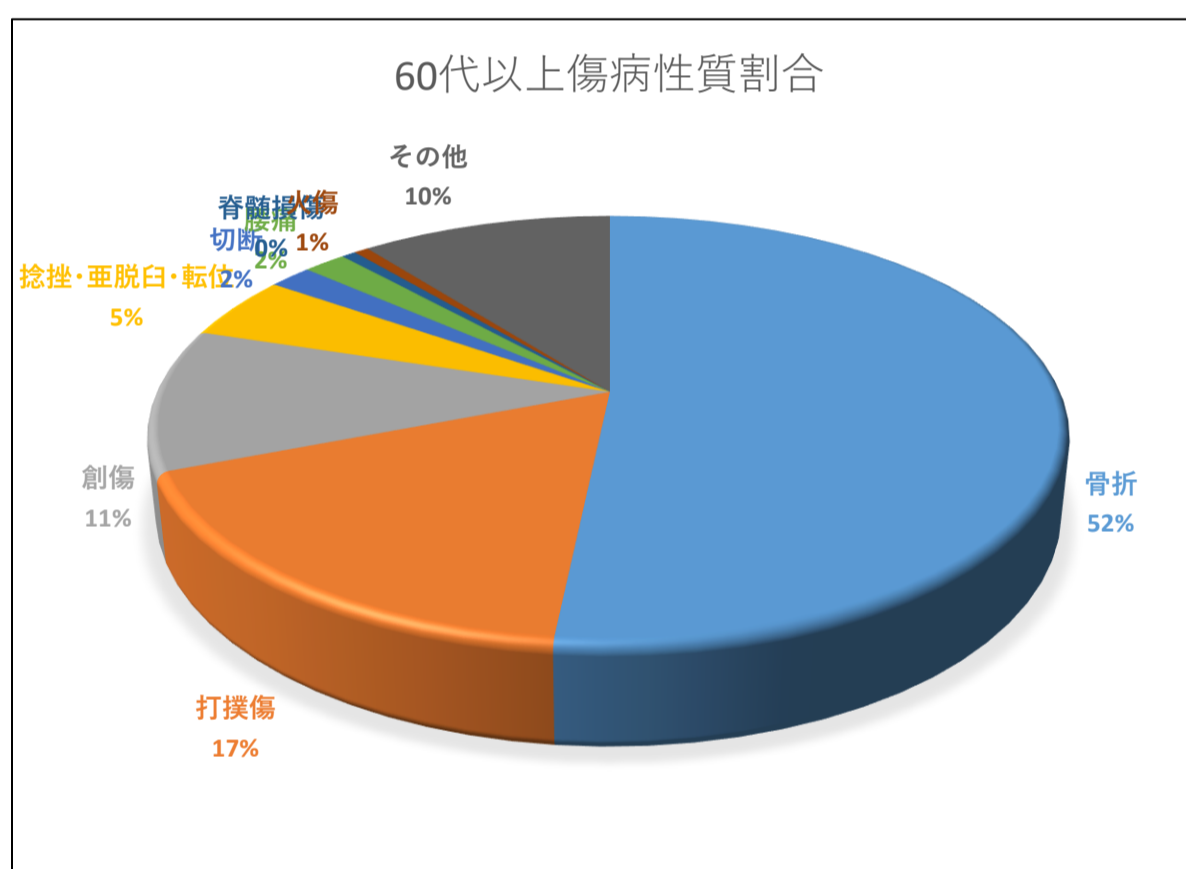
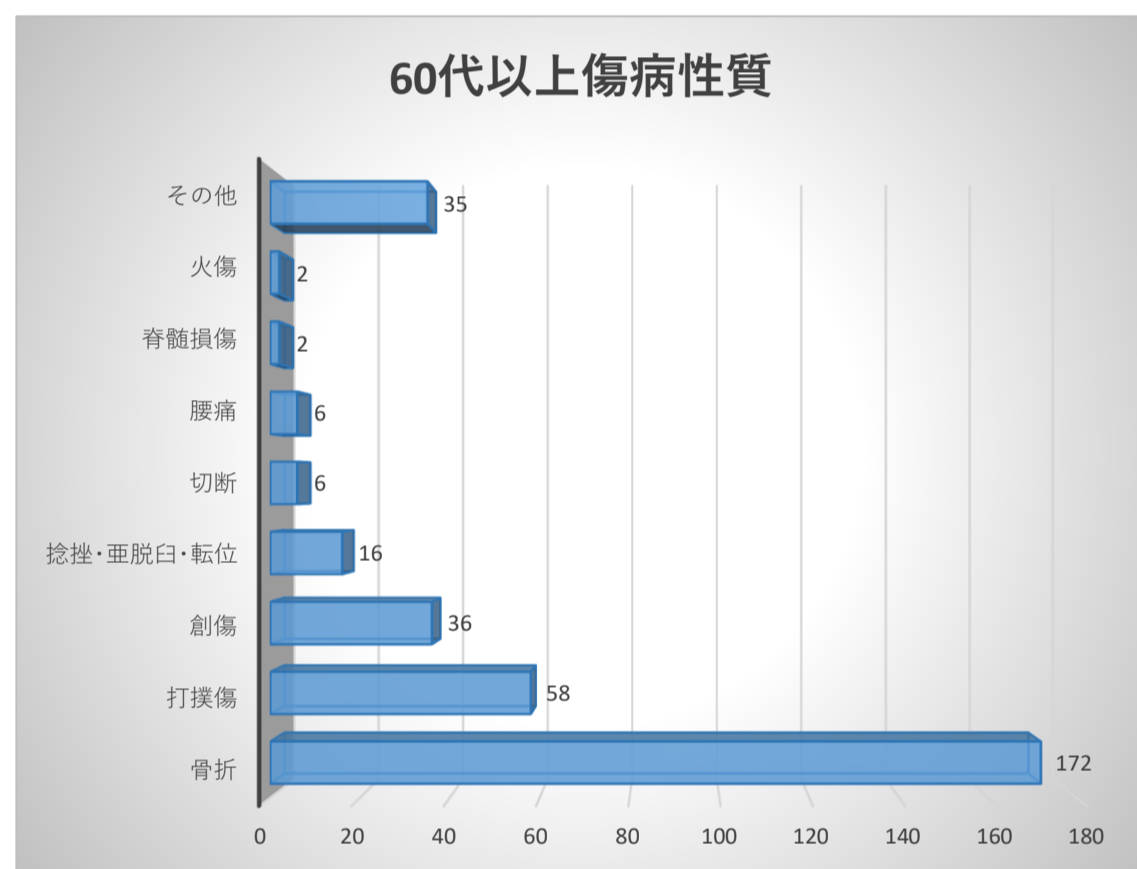
概要 月曜日にやや多く発生しているが、あまり曜日による発生割合に差はない。

60代以上事故の型	転倒	墜落、転落	はまさま、巻き込まれ	切れ、こすれ	動作の反動、無理な動作	飛来、落下	交通事故	激突	激突され	高温・低温の物との接触	崩壊、倒壊	有害物等との接触	その他	合計
	99	54	33	25	24	15	14	12	12	5	4	1	35	333
	29.7%	16.2%	9.9%	7.5%	7.2%	4.5%	4.2%	3.6%	3.6%	1.5%	1.2%	0.3%	10.5%	100.0%



概要 「60代～」の事故の型別は、「転倒」が最も多く99件（29.7%）と約3割を占める。次いで「墜落、転落」54件（16.2%）であり、こちらも割合が高くなっている。

60代以上傷病性質	骨折	打撲傷	創傷	捻挫・亜脱臼・転位	切断	腰痛	脊髄損傷	火傷	その他	合計
	172	58	36	16	6	6	2	2	35	333
	51.7%	17.4%	10.8%	4.8%	1.8%	1.8%	0.6%	0.6%	10.5%	100.0%



概要 「60代～」で最も多く発生している傷病性質は「骨折」172件（51.7%）であるが、割合が5割を超える。次いで多いのは「打撲傷」58件（17.4%）、「創傷」36件（10.8%）となっている。